

多様な世代の 従業員が働く 職場のメリット



ベビーブーム世代

1946年～1964年

X世代

1965年～1980年

ミレニアル世代

1981年～1996年

Z世代

1997年～2012年

Indeed が実施したグローバル調査では、すべての世代の採用企業と求職者が、多様な世代で構成される職場は従業員体験を向上させるだけでなく、収益面にも良い影響を及ぼすと回答しました。

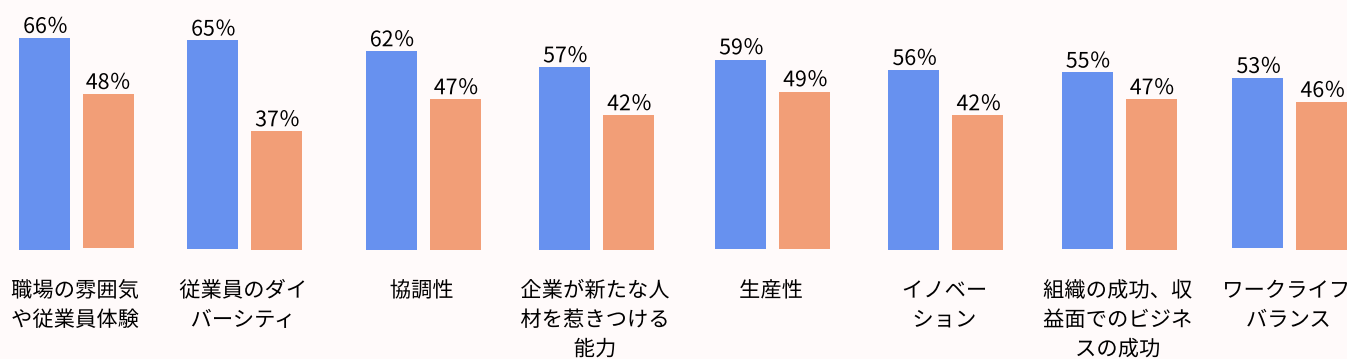
2/3

採用企業と求職者の少なくとも3分の2が、多様な世代の従業員がいることは企業と従業員にさまざまなメリットをもたらすと考えています

あらゆる年代の求職者が、さまざまな世代の従業員が働く方が企業や従業員にとって良いと回答しています。ほぼすべての採用企業は世代の多様性を財産であると考えており、そのことを求職者よりも強く実感しています。

求職者は、多様な世代の従業員がいることのメリットとは何だと考えていますか？

■ 複数世代に分散 ■ 1つの世代のみ

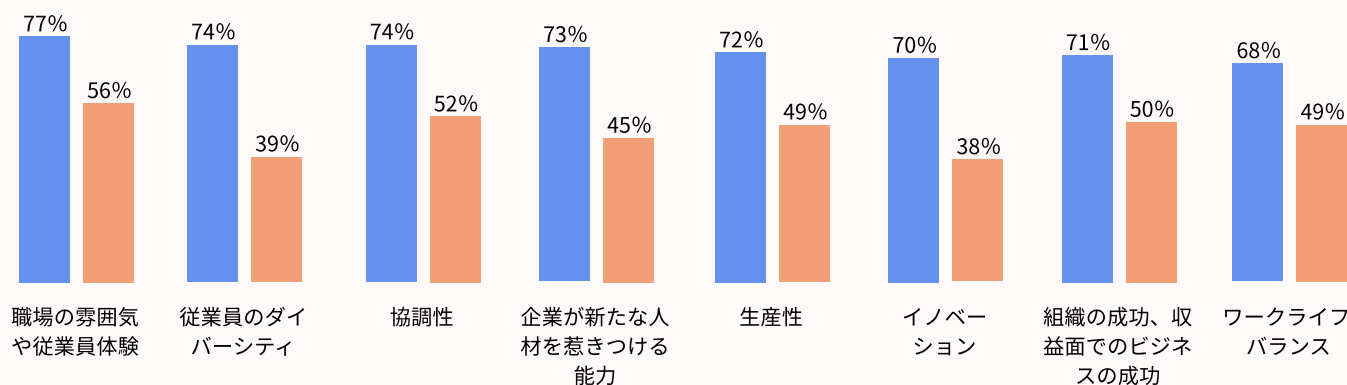


世代の多様性が高い企業ほど、そのメリットを強く実感できます。さまざまな世代を雇用する企業に就業した求職者は、ポジティブな結果を報告する可能性が高くなります。

求職者への質問：従業員が複数世代に分散している、または1つの世代の従業員しかいないと回答されました。そのことは、以下に挙げる仕事の側面に影響を与えていると思いますか？それぞれの行で選択肢を1つ選んでください。

採用企業は、多様な世代の従業員がいることがもたらすメリットは何だと考えていますか？

■ 複数世代に分散 ■ 1つの世代のみ



さまざまな世代の従業員が均等に分散している企業のうち、77%の採用企業は世代の多様性が職場の雰囲気にプラスの影響を与えると回答し、71%の採用企業は世代の多様性が組織の成功と収益に貢献すると回答しています。一方、従業員が1つの世代のみで構成されている採用企業のうち、職場の雰囲気についてそのように回答しているのはわずか56%で、組織の成功と収益について同じ回答をしたのはたった50%でした。

採用企業への質問：従業員が複数世代に分散している、または1つの世代の従業員しかいないと回答されました。そのことは、以下に挙げる仕事の側面に影響を与えていると思いますか？それぞれの行で選択肢を1つ選んでください。

知識の共有は大きな強みになります

あらゆる年齢層の回答者が、最大のメリットは若い従業員と年齢の高い従業員が知識を共有し、互いに学び合えることだと答えています。2番目のメリットとして、複数世代にわたる豊富な経験があることから得られる強みが僅差で続きます。

年齢が違うということよりも、自分とは違う経験をしているという事実の方が重要です。どうすればそれを活用できるのでしょうか、また自分の経験を活用してもらうには、どうしたらよいのでしょうか。従業員が同僚をサポートしたとき、また従業員が助けを求めているときは大きく取り上げましょう。そうすることにより、誰もが年齢に関係なく他の人に大きな影響を与え、気軽に助けを求めても良いと感じられるようになるはずです。

George Murphy

Indeed のAll Generations Empowered (AGE) インクルージョン・ビジネス・リソース・グループ (IBRG) のCo-Chair



出典

YouGovの協力による2024年の Indeed 調査、合計N=9,219人の求職者と4,839社の採用企業

この文書の著作権は Indeed, Inc. に帰属します。Indeed の書面による同意なしに、この文書の全部または一部を使用、改変、複製、再送信および再発表することは明示的に禁止されています。Indeed はこの文書に含まれる情報の使用もしくは適用、またはそれらの解釈によるいかなる責任も負いません。Copyright © 2025, Indeed, Inc. All rights reserved.